

作成日 2024/11/22

改訂日

## 安全データシート

## 1. 化学品及び会社情報

製品名	墨汁 木材用(黒)
会社名	株式会社MonotaRO
所在地	〒660-0876 兵庫県尼崎市竹谷町2-183 リベル3階
担当者名	商品お問合せ窓口
電話番号	0120-443-509
FAX番号	0120-289-888
緊急連絡先	所在地と同じ
推奨用途	筆記用
使用上の制限	推奨用途以外の用途へ使用する場合は専門家の判断を仰ぐこと
整理番号	M241129

2. 危険有害性の要約  
化学品のGHS分類

健康有害性	発がん性 区分2 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(血液系 腎臓 中枢神経系) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分1(呼吸器) 上記で記載がない危険有害性は、区分に該当しないか分類できない。
-------	--

## GHSラベル要素

## 絵表示



注意喚起語	危険
危険有害性情報	H351 発がんのおそれの疑い H371 血液系、腎臓、中枢神経系の障害のおそれ H372 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害

## 注意書き

## 安全対策

使用前に取扱説明書を入手すること。(P201)  
全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
(P202)  
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。(P260)  
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)  
この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
(P270)  
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。  
(P280)

## 応急措置

ばく露又はばく露の懸念がある場合: 医師の診察/手当てを受けること。(P308+P313)  
気分が悪いときは、医師の診察/手当てを受けること。  
(P314)

## 保管

施錠して保管すること。(P405)

## 廃棄

内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
カーボンブラック	5.0～10.0%	不明	不明	不明	1333-86-4
ポリビニルアルコール	非公開	不明	(6)-682	既存	25213-24-5
エチレングリコール	5.0%未満	HOCH <sub>2</sub> CH <sub>2</sub> OH	(2)-230	既存	107-21-1
塩化カルシウム	5.0%未満	不明	(1)-176	既存	10035-04-8
分散剤	非公開	不明	不明	不明	非公開
その他	1.0%未満	不明	不明	不明	非公開
水	非公開	H <sub>2</sub> O	不明	不明	7732-18-5

4. 応急措置

皮膚に付着した場合

手などに付着した場合は、石鹼などでよく洗うこと

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
気分が悪くなった場合は医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合

眼に入った場合水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用している容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。  
眼に入り眼の刺激が続く場合は医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合

飲み込んだ場合、水で口の中を洗浄し、医師の診断、手当てを受けること。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

水霧放水、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス

使ってはならない消火剤

特になし

特有の危険有害性

火災によって刺激性、腐食性及び毒性のガスを発生するおそれがある。

特有の消火方法

特になし

消火を行う者の保護

消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。  
適切な保護具を着用する。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、河川などへの流出を防止する。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

漏れ出した物質を掃き集めて容器に回収する。  
土・砂・ケイソウ土・おがくずなどの不活性吸着物質で吸収し、あるいは覆って容器に移す。

7. 取扱い及び保管上の注意  
取扱い

取扱後は容器のふたを確実に閉じる。  
換気の良い場所で取り扱い、皮膚、眼などとの接触を避ける。

保管

直射日光を避け、屋内に保管する。  
乳幼児の手の届かない所に保管する。

8. ばく露防止及び保護措置

	管理濃度	許容濃度(産衛学会)	許容濃度(ACGIH)
カーボンブラック	未設定	【粉塵許容濃度】(第2種粉塵) 吸入性粉塵 1mg/m <sup>3</sup> 総粉塵4mg/m <sup>3</sup>	設定あり
ポリビニルアルコール	未設定	未設定	未設定
エチレングリコール	未設定	未設定	設定あり
塩化カルシウム	未設定	未設定	未設定
水	未設定	未設定	未設定

	厚生労働大臣が定める濃度の基準	
	8時間濃度基準値	短時間濃度基準値/天井値
カーボンブラック	未設定	未設定
ポリビニルアルコール	未設定	未設定
エチレングリコール	10ppm	50ppm
塩化カルシウム	未設定	未設定
水	未設定	未設定

許容濃度(ACGIH)参照先: <https://www.acgih.org/>

設備対策

作業所の十分な換気を確保する。  
取扱い場所の近くに、安全シャワー、手洗い、洗眼設備を設け、その位置を明瞭に表示しておく。  
防爆機器を使用し、静電気放電に対する予防措置を講ずる。

保護具

必要に応じて、有機ガス用防毒マスク、送気マスク、空気呼吸器、保護手袋、保護眼鏡などを着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態  
形状  
色  
臭い  
融点/凝固点  
沸点又は初留点及び沸点範囲  
可燃性

液体  
液体  
黒色  
特異臭  
データなし  
データなし  
データなし

爆発下限界及び爆発上限界 ／可燃限界	下限	データなし
	上限	データなし
引火点		データなし
自然発火点		データなし
分解温度		データなし
pH		データなし
動粘性率		データなし
溶解度		水と混和
n-オクタノール／水分配係数		データなし
蒸気圧		データなし
密度及び／又は相対密度		データなし
相対ガス密度		データなし
粒子特性		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		自己反応性なし。
化学的安定性		通常の条件下で安定。
危険有害反応可能性 避けるべき条件		亜鉛を侵し水素ガスを発生させる可能性がある。 40℃以上の長時間の保管、0℃以下の長時間の保管は避ける。
混触危険物質		製品性能に影響する可能性あり。
危険有害な分解生成物		亜鉛、強酸化剤 一酸化炭素、二酸化炭素。
11. 有害性情報		
急性毒性	経口	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	経皮	急性毒性推定値が5000mg/kg超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
	吸入	(気体) GHS定義による気体ではない。
		(蒸気) 急性毒性推定値が50000ppm超のため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
		(粉じん・ミスト) 急性毒性推定値が40.0995992mg/lのため区分に該当しないとした。
		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。
皮膚腐食性／皮膚刺激性		10×(区分1+1A+1B+1C)+区分2の成分合計が4.99%のため、区分3とした。 JIS Z 7252に採用されていないため区分3から区分に該当しないに変更。
眼に対する重篤な損傷性／ 眼刺激性		毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。 毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。

呼吸器感作性	<p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
皮膚感作性	<p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
生殖細胞変異原性	<p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
発がん性 生殖毒性	<p>区分2の成分が10%のため、区分2とした。 (生殖毒性)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。 (生殖毒性・授乳影響)</p> <p>危険有害性区分に該当する成分を濃度限界以上含有しないため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を考慮濃度(0.1%)以上含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	<p>区分1(血液系)の成分が4.99%のため、区分2(血液系)とした。</p> <p>区分1(腎臓)の成分が4.99%のため、区分2(腎臓)とした。</p>
特定標的臓器毒性(反復ばく露) 誤えん有害性	<p>区分1(中枢神経系)の成分が4.99%のため、区分2(中枢神経系)とした。</p> <p>区分1(呼吸器)の成分が10%のため、区分1(呼吸器)とした。</p> <p>動粘性率が不明のため、分類できないとした。</p>
12. 環境影響情報	
水生環境有害性 短期(急性)	<p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
水生環境有害性 長期(慢性)	<p>(毒性乗率×100×区分1)+(10×区分2)+区分3の成分合計が0%のため、区分に該当しないとした。</p> <p>毒性未知成分を含有しているため、区分に該当しないから分類できないに変更。</p>
生態毒性 残留性・分解性 生体蓄積性 土壤中の移動性 オゾン層への有害性	<p>データなし データなし データなし データなし データ不足のため分類できない。</p>
13. 廃棄上の注意 廃棄物の処理方法	<p>内容物、包材を地方、国の規則に従って廃棄すること。</p>
14. 輸送上の注意 国内規制	陸上輸送
	<p>消防法、労働安全衛生法などに定められている運送方法に従う。</p>

海上輸送 船舶安全法などに定められている運送方法に従う。  
 航空輸送 航空法などに定められている運送方法に従う。

国際規制 国連番号・品名・国連分類・容器等級 該当しない

15. 適用法令  
 労働安全衛生法

名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号～第2号別表第9)  
 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2第1項、施行令第18条の2第1号～第2号別表第9)

エチレングリコール(政令番号:75)(5%未満)(営業秘密)

カーボンブラック(政令番号:130)(1%-10%)(営業秘密)

濃度基準値設定物質(安衛則第577条の2第2項、令和5年4月27日告示第177号、令和5年4月27日公示第24号)

皮膚等障害化学物質等・皮膚吸収性有害物質(安衛則第594条の2第1項、令和4年5月31日基発0531第9号、令和5年7月4日基発0704第1号・5該当物質の一覧)

エチレングリコール

毒物及び劇物取締法  
 化学物質排出把握管理促進法(PRTR法)

非該当  
 非該当

化審法  
 消防法  
 大気汚染防止法

優先評価化学物質(法第2条第5項)  
 非危険物  
 揮発性有機化合物(法第2条第4項)(環境省から都道府県への通達)

海洋汚染防止法

有害でない物質(施行令別表第1の2)  
 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1)  
 有害液体物質(Y類同等の物質)(環境省告示第148号第2号)  
 有害液体物質(Z類同等の物質)(環境省告示第148号第3号)

外国為替及び外国貿易法  
 特定有害廃棄物輸出入規制法(バーゼル法)

輸出貿易管理令別表第1の16の項  
 特定有害廃棄物(法第2条第1項第1号イ、平成30年6月18日省令第12号)

労働基準法

がん原性化学物質(法第75条第2項、施行規則第35条別表第1の2第7号)

じん肺法

法第2条、施行規則第2条別表粉じん作業

16. その他の情報  
 参考文献

製造元メーカー提供資料  
 NITE GHS分類結果一覧  
 JIS Z 7252 GHSに基づく化学物質等の分類方法  
 JIS Z 7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法—ラベル、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)

経済産業省 事業者向けGHS分類ガイダンス

日本ケミカルデータベース(株)SDS作成システム「ezSDS」  
により作成。

その他

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データ等に基づいて作成しておりますが、含有量、物理・化学的性質、危険有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。あくまでも参考情報として提供するものであります。また、注意事項は通常の見取り紙を対象としたものです。また、特殊な取扱いをする場合は、用途・用法に適した安全策を実施の上、ご利用ください。この情報は、新しい情報を入手した場合、予告なしに改訂されることがあります。